



2025年2月26日

各位

会社名 株式会社 マルイチ産商
代表者名 代表取締役社長 柏木 康全
社長執行役員
(コード番号8228 名証メイン)
問合せ先 取締役常務執行役員 仁科 圭右
コーポレート戦略本部長
TEL 026-285-4101 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2024年5月10日に公表した2025年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 255,000	百万円 2,100	百万円 2,600	百万円 1,600	円 銭 72.32
今回修正予想 (B)	265,000	1,150	1,750	650	30.97
増減額 (B-A)	10,000	△ 950	△ 850	△ 950	—
増減率 (%)	3.9	△45.2	△32.6	△59.3	—
(ご参考) 前期連結実績 (2024年3月期 通期)	254,805	1,827	2,370	1,551	70.15

2. 修正の理由

当社では、昨年11月に子会社化した㈱ダイニチ及びその子会社6社につきまして、昨年12月分の月次決算から連結の範囲に含めることによる通期連結業績への影響等を精査してまいりました。

その結果、2025年3月期通期連結業績予想につきまして、売上高は、ダイニチグループを連結対象に加えたことによる増加と、商品の相場高や値上げに伴う販売単価の上昇もあり、当初予想を上回る見込みです。

利益面につきましては、昨年7月に新基幹システム「M-BASE」の運用を開始しましたが、稼働直後に顕在化した問題への対応で、一過性ながら人件費の増加やシステム関連の特別保守料の発生に伴う経費増に加え、営業活動の停滞による仕入価格上昇への対応の遅れなどから売上総利益の低下を招きました。また、システム稼働に伴う減価償却費の増加と、物流関連コストの上昇もあり、営業利益、経常利益とも当初予想を下回る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、単体の課税所得減少に伴う繰延税金資産の取崩しによる税金費用の増加が見込まれることもあり、当初予想を下回る見込みです。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しておりますので、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる結果となる可能性があります。

以上